

令和4年度地方創生臨時交付金事業 事業効果検証資料

事業名	にかほ魅力発掘発信事業
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
事業費	11,421,766円
事業対象	にかほ市
実施方法	直営・委託・補助金交付・助成金交付
事業目的	コロナ禍における地域全般の落ち込みを回復させ、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた市の魅力の掘り起こしを行うとともに、観光、産業、子育て、文化など多方面への波及効果を高め、継続的な情報発信ができる体制を構築する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信事業…各種 WEB サイト運用、番楽映像コンテンツ製作、『漁師図鑑』発行 ・木版画家池田修三作品展事業…秋田空港、JR 秋田駅、観光拠点センターにかほっと、市役所展示
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信事業 令和4年4月1日 業務執行、契約締結 令和5年3月31日 業務終了、完成検査 ・木版画家池田修三作品展事業 令和4年5月13日 業務執行 令和4年5月20日 契約締結 令和4年11月15日 変更契約締結 令和4年12月28日 業務終了、完成検査
効果検証	<p>地域の魅力発信事業は、コロナ禍での行動規制などある中でも、ウィズコロナを想定した魅力を掘り下げにより、新しい情報発信コンテンツを各種 WEB サイトで紹介することができた。特に『漁師図鑑』は、全国的にも稀な取り組みであり、各種メディアでも大々的に取り上げられたこともあり、本市の知名度向上などアフターコロナへ向けての起爆剤となることができた。</p> <p>また、木版画家池田修三展示事業においては、こちらもコロナ禍での展示となったが、空港、鉄道、観光拠点などポイントをしばって PR することができたため、地域の魅力発信事業と同じくアフターコロナを見据えた波及効果が期待できる。</p> <p>また、木版画家池田修三展示事業においては、秋田の交通の玄関口である秋田空港、JR 秋田駅で、人流の増加する7月～9月に開催できたことで100万人以上の方々が作品にふれる機会を創出することができた。</p> <p>【参考】</p> <p>■作品展開催期間中の入込数（R5.7～9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○秋田空港 …… 250,547人 ○JR 秋田駅 …… 644,000人 ○にかほっと …… 140,038人